**【2020～21PETS社会奉仕部門セッション資料】　　　　　　　　　　　2019年手続要覧　P2～4**

|  |
| --- |
| 社会奉仕に関する1923年の声明  次の声明は1923年国際大会で採択され、以後の国際大会で改正されたものである。これは、その歴史的価値から手続要覧に含まれている（ロータリー章典8.040.2.）。  ロータリーにおいて社会奉仕とは、ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理念を適用することを奨励、育成することである。  この奉仕の理念の適用を実行することについては、多くのクラブが会員による奉仕にその機会を与えるものとして、さまざまな社会奉仕活動を進めてきている。以下に掲げる諸原則は、ロータリアンおよびロータリークラブの指針として、また、社会奉仕活動に対するロータリーの方針を明確に表すものとして適切であり、また管理に役立つものであることを認め、これを採用するものである。 |
| 社会奉仕に関する声明〈1992年規定審議会〉  ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理念を適用することを奨励、育成することである。  この奉仕の理念の適用を実行することについては、各ロータリークラブが多彩な社会奉仕活動を開発して、会員に奉仕活動の輝かしい機会を与えてきた。ロータリアンの指針として、また、社会奉仕活動に対するロータリーの方針を明確に表すために、その原則は次のようにまとめられる。  社会奉仕は、ロータリアン一人ひとりが「超我の奉仕」を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある。 |

|  |
| --- |
| **≪社会奉仕活動を始める時に、こんなことに気を付けよう！を集めてみました≫**  ・手間を掛ければ掛けるほど、コストが下がり感動が増す！  ・相手方（事業対象者）と入念な話し合いを行い、正確なニーズをキャッチ！  ・企画の段階から、出来るだけ多くの人で行う！  ・準備は、自クラブのプライドを掛け、隅々まで想定し入念に行う！  ・参加者に積極的に声を掛け、一緒に楽しむ！  ・継続事業は、当初の情熱が持続しているか？⇒リノベーションで生まれ変わる！  ・新規事業を立ち上げる時こそ、その事業の成果、期間、金額など様々な終着点を  検討時から決めておく！ |